

茅野市・原村地域公共交通活性化協議会

平成21年2月19日設置
平成22年2月12日連携計画策定

概要

本協議会は、日常生活に関して形成される交通圏がまたがる茅野市及び原村が設置した。住民の移動手段は、マイカーに大きく依存しており、生活路線バスは利用者の減少により、営利事業として成り立っていくことが困難になっている。両市村は、こうしたバスの諸課題への対応策を「地域公共交通総合連携計画」としてまとめ、平成22年度から3年間にわたる「実証運行」を通じて、地域にふさわしい公共交通のあり方を見出す取組みを実施する。



○乗合タクシーの運行

大型・中型バスに代え、需要に応じ、小回りの効く車両(ワンボックスカー)を導入し、運行時刻とともに、住民ニーズに沿った運行経路を検証する。
(御狩野線、中沢線、丸山線、豊平・泉野線、原村循環線)
豊平・泉野線では、朝夕の定時定路線方式とともに、日中はデマンド方式を導入する。

○通学支援便の運行

小中学校、高校への通学を支援するため、需要に応じた規模の車両を運行する。(御狩野線[大型バス]、丸山線[中型バス]、原村循環線[ワンボックスカー])

○市街地連絡バスの運行

茅野市と原村の市街地を連絡する路線バスを運行する。あわせて、諏訪中央病院への通院の機能を強化する。(穴山・原村線)

○観光路線バスの運行

観光戦略として、観光施設等を経由するルートに変更するとともに、施設等における滞在時間を確保したダイヤ構成とする。(メルヘン街道バス)

○わかりやすい・使いやすい公共交通サービスの提供

- ・時刻表の全世帯配布、バスターミナルの改良(発着番線、路線図)
- ・停留所の設置作業を住民とともにやり、地域公共交通に対する住民意識の醸成につなげる。
- ・広報紙、行政チャンネル、ポスター、チラシ、ホームページ等によるPR

乗合タクシーの運行

《御狩野線、中沢線、丸山線、豊平・泉野線》
・大型・中型バスに代え、需要に応じた規模の車両を運行する。
豊平・泉野線では、両市村で初めて、デマンド方式を導入する。

観光路線バスの運行

《メルヘン街道バス》

・観光戦略として観光施設等を経由するルートの新設

市街地連絡バスの運行

《穴山・原村線》

・現行のバス路線の運行区間を変更・改善

通学支援便の運行

《御狩野線、丸山線》

・朝・夕は通学支援便の運行
・昼間は乗合タクシーの運行

乗合タクシーの運行

《原村循環線》

・通学通勤支援便の運行
・村内を循環する車両の運行

